

舟一だより

第23号

令和7年3月

●舟石川一区自治会
●総務委員会 編集

令和6年度 舟石川一区単位自治会座談会（村長との意見交換）報告

日 時：令和6年12月7日 13:00～14:30
場 所：舟石川コミュニティセンター 会議室
参加者：山田修村長、役場職員、
舟石川一区自治会役員、協議員

当日は、①～④のテーマに沿って意見交換を行いました。
主な意見交換の内容を以下に示します。

①自治会脱会者を減らし、加入促進の取り組み

➤ 自治会加入者に税金控除、支援金の支給等の村からのメリットがあると良い。

村長：税控除の話はストレートすぎる。村の自治会への加入促進は、自治基本条例に基づいて行っているが、加入は任意である。

➤ アパートの住民の自治会加入促進が重要である。

村長：フローレスタ須和間や旧百塚原団地跡地の開発団地、駅西マンションなど、販売業者から入居者に加入促進を行っている。

➤ 転入時に自治会加入の何らかのメリットを作ると良い（例：文具券の配布など）。自治会加入促進を村の方針としていれば、考えられるのではないかと。また、役場の窓口で自治会加入への声掛けをしているか。

村長：支援金の支給等、金銭的なものは難しい。自治会加入について条例では記載しているが、強制ではない。住民課では、自治会加入のチラシだけでなく、他必要なチラシを渡している。チラシを受け取らない方には、村民活動支援課から、自治会長に直接案内をしている。

②自治会の高齢化と若返り

➤ 役員のなり手がいない、班長の職を全うできないなど、高齢化による課題がある。セカンドライフ（退職）時に声掛けて、自治会の活動に参加してもらうことが、自治会の若返りになる。現役世代に若返りを求めても厳しいと思っている。

村長：自治会加入率は高いが、近所のつきあいが無いという班もある。子ども会がなくなり、子育て世代同士のつながりも希薄化、自治会との関りもなくなっている状況で、子どもを介して人が集うような場が必要だと考えている。

③地域活動のデジタル化について

➤ 村が自治会に対してタブレットを支給したらどうか。現在、LINE グループを活用して連絡調整や情報共有等を図っている。また、会議資料は紙で作っているが、デジタル化でデータ化してもよい。村のサーバーを自治会で使えるようにできないか。

村長：自治会のデータが多くなれば、サーバーも必要に



なるだろうが、会議資料ベースであれば、データ容量は大きくないだろう。自治会全体で一つのサーバーということであれば考えられなくもない。

④自治会活動の負担軽減について（単位自治会を支援する人材の配置等）

➤ 地域に地区自治会と単位自治会が2つあることをどう思っているか。

村長：地区自治会はコミセンを中心に活動を行っており、コミセンで事業をやる場合にマンパワーが足りない。コミセンの職員を増やし、地区自治会で行っていた事業の企画はコミセンで行い、当日のお手伝いを地域に協力してもらう形が良いと考えているが、6地区ごとに職員を複数配置する必要があるのも、まだ踏み切れない。将来的には単位自治会は継続、地区自治会事業はコミセン中心という形にしたい。

➤ 高齢の班長等が総会資料を作成する場合にコミセンで支援してくれると良い。例えば、一人コミセンの職員が増えればよい。地区自治会をなくし、単位自治会をサポートする人をコミセンに置くことができれば助かる。

村長：事務負担の軽減はできると思う。組織をなくすことで負担を軽減することが可能になるので、少なくとも地区自治会は見直す。

➤ 地区自治会の予算分を、単位自治会の予算に充てられるのではないかと。また、今は自治会員数に対しての予算となっている。事業に対しても予算を充ててほしい。事業を行っていない自治会に対し、人数が多いということで予算が決まるのはどうかと思う。

村長：地区自治会の予算を充てることは可能だと思うので検討したい。わかりやすく公平公正を出すために人数を基にしているが、積算根拠の研究をしていきたい。

村長による講評

耳の痛い話もあって、すっきり答えきれていない感もあった。地区自治会をなくす話は、住民側にとってベストな選択であれば、進めたい。どれだけ村が自治会の重要性を伝えていけるかが大事だと思っている。改めて、窓口で自治会加入促進の対応もやっていきたい。

舟一おいでよ秋祭り

令和6年10月19日（土）「舟一おいでよ秋まつり」がお祭り日和の秋晴れの下、盛大に開催されました。打ち上げ花火の合図に続いて東海太鼓で盛り上がり、開会式では高橋会長と来賓の山田村長にご挨拶頂き、秋祭りがスタートしました。特設ステージでは、二つのバンドグループに登場頂き、初めのウエスタンバンド「万丈童子」には演奏と歌、続いて登場したハワイアンバンドには演奏と歌、そして華やかなフラダンスで会場を大いに盛り上げて頂きました。

今回は、昨年好評を得たキッチンカーについては1台増やし、3台のキッチンカーにて美味しいクレープやピザ、韓国料理を多くの参加者に楽しんで頂きました。その他にも焼きそば、焼き芋、生ビールなど様々なイベントで皆さんに楽しんで頂けたと思います。恒例の大抽選会も盛り上がり、今年は650人以上の皆様にご参加頂きお祭りを無事に終了することが出来ました。ご支援ご協力頂いたすべての皆様に感謝と御礼を申し上げます。

実行委員長 照沼 毅



地域交流研修旅行

令和7年1月26日（日）に52名で埼玉県行田市方面に行ってまいりました。行きの車内では、ビンゴゲームで盛り上がり、全員が景品を受け取りました。最初に訪れた「ぼけ封じなどの封じ祈願」で有名な「行田八幡神社」では、本殿を参拝すると共に、境内のパワースポットとして知られる「なで桃」を撫でたり、同じく境内にある「目の神社」をお参りしたりしました。昼食は、市内のふじみ館で海鮮丼や天丼などを美味しくいただきました。昼食後は、さきたま史跡の博物館を見学すると共に、風が強い中、各自で広大な「さきたま古墳群」の散策や、観光物産館さきたまテラスでの買物など、それぞれの時間を楽しみました。本研修旅行の実施に当たり、ご協力頂いた皆様に、厚く御礼申し上げます。

総務委員長 神永 雅紀



防災訓練、防災・防犯研修会

防災・防犯委員会では令和6年度の活動として、6月1日（土）に第一回防災訓練を実施し消防職員指導による訓練用消火器を用いた初期消火訓練、応急措置訓練（AED 含む）を開催し、災害を想定した実働訓練を実施しました。12月7日（土）には、第二回防災訓練として「地域の防災対策・防犯対策」と題し防災・防犯研修会を開催し、ひたちなか警察署員を講師に招き、身近で災害が発生した場合の防災対策や県内で起きている事件等から防犯対策等を紹介頂き、防災対策・防犯対策について学びました。自主防災組織としての活動に対しましてこれまでのご協力に感謝申し上げますと共に、今後とも引き続きご協力を宜しくお願い致します。

防災・防犯委員長 大内 真



グラウンドゴルフ交流会

令和6年6月27日実施 参加人数 38名

富士会の方々に全面協力していただき、グループに分かれて実施。初心者の方々にも富士会の方々にご指導頂きプレイすることができました。

青少年・福祉委員長 佐藤 百合子

春と秋の区内清掃

舟石川一区の区内掃として、東海村のクリーン作戦と合わせて、春は6月8日（土）に、秋は10月26日（土）に、それぞれ区内の主要道路の清掃を行いました。ご協力ありがとうございました。また、資源物回収当番の立会にもご協力を頂き感謝いたします。

環境委員長 沓掛 忠三



春の区内清掃の様子（令和6年6月8日）



秋の区内清掃の様子（令和6年10月26日）

健康けん玉体操教室

令和7年1月18日実施 参加人数 12名

講師をお招きして実技中心に実施。手先だけでやるのではなく腰、膝を使いバランス感覚も大切ということがわかりました。インフルエンザがまん延中で参加人数が少なかったのが残念でした。 青少年・福祉委員長 佐藤百合子



春のつどい（三世代交流会）

令和7年2月15日実施 大人28名 子供8名

射的からスタート。東海村ジャンボかるた。最後は、ピンゴゲーム。射的は終了後も「もっとやりたい」の声も。三世代混じっての楽しいひとときをすごすことができました。 青少年・福祉委員長 佐藤百合子



資源物回収のお願い！！

資源物の収集により自治会への報償金が交付されます。自治会ではこれを各班へ「資源物回収報奨金」や立会者へ「立会金」として支給しております。また、諸事業へ交付しております。資源物回収について、皆様のご協力をお願いいたします。

ひたちなか地区防犯協会防犯功労者表

令和7年2月21日（金）、ひたちなか市那珂湊総合福祉センターで「ひたちなか地区防犯協会防犯功労者表彰式」が開催され、照沼誠様が平成28年4月から令和6年4月の8年間の長きに渡る防災・防犯委員会副委員長の要職の歴任、地域安全活動への尽力が評価され、「優良地域安全活動表彰」を受賞しました。これまでのご尽力に対し、心より感謝申し上げます。



防災・防犯委員長 大内 真

自治会からのお願い

高齢化が進む中、高齢者の一人世帯や二人世帯等で自治会を退会する方々が増えてきております。年齢と共に班長の活動や行事への参加ができなくなり退会せざるを得ないことが要因であります。

そこで役員会で検討した結果、概ね80歳を目安に、班長役を免除しても良いのではということをご提案します。脱会ではなく継続することにより、隣近所とのお付き合いを維持していけると思います。

これは元気なお年寄りを制限するものではなく、可能な方は年齢に左右されなくても勿論よろしいと考えます。

どうか各班の中で議論していただき、良い方向をつくって頂ければと思います。 舟石川一区自治会長 高橋 範夫

令和6年度 舟一自治会の主な活動

令和6/ 5月 運営委員会（4委員会に分けて実施）

防災訓練

6月 グランドゴルフ交流会

春の区内清掃

8月 舟一だより かわら版発行

舟一おいでよ秋祭り

10月 秋の区内清掃

12月 防災・防犯研修会

令和7/ 1月 健康けん玉体操教室

地域交流研修旅行（行田市方面）

2月 春のつどい

舟一だより 23号発行

3月 令和7年度定期総会

編集後記

「舟一だより23号」の内容はいかがでしたでしょうか？本号も事業の雰囲気が伝わるよう、写真を多く掲載しました。次号からは、編集者を交代し新たな視点で自治会活動の状況をお伝えできればと考えています。来年度も皆様の自治会活動へのご参加をお待ちしております。

総務委員長 神永 雅紀